

筑波大学 学内無線LANシステムについて

本学の学内無線LANを利用するには、
①統一認証ID
②無線通信暗号化のためのパスフレーズ
が必要となります。

●統一認証ID

利用者が本当に筑波大学のネットワーク
を利用する資格を持っているかを確認し、
また何かあった場合にその利用者を特定す
るために必要となります。

●パスフレーズ

無線LANはその性質上、盗聴の危険性が
あります。そこで、安全に通信を行うために、
その通信内容を暗号化する必要があります。

暗号化を行わない場合、通信内容が盗聴
されることを防ぐことができず、検索キー
ワードやユーザ名とパスワードなどを第三
者に知られてしまう危険性があります。

暗号化を行うためには、装置側と利用者
の間で暗号化に使う「パスフレーズ（鍵）」
が必要となります。

このパスフレーズは、ネットワークの利
用資格をもつ人にだけ提供されます。その
ため、パスフレーズを知るためには、認証
を受ける必要があります。

パスフレーズは安全のため定期的に変更
されますが、そのタイミングを除き、毎回
パスフレーズを取得する必要はありません。

■はじめて利用する場合

無線LANをはじめて利用する場合または
パスフレーズが変更された場合、パスフレー
ズを取得する必要があります。

まず、「utwlan-pub」という名前のアク
セスポイントに接続します。この状態でど
こかのサイトを閲覧すると、自動的にパス
フレーズ取得用のページへ転送されます。

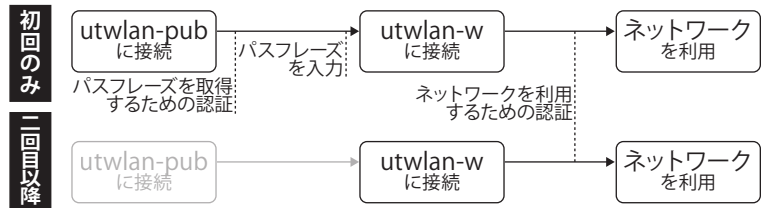
そのページの指示に従い、認証処理を行
うことで、パスフレーズを取得することが
できます。

次に、「utwlan-w」という名前のアクセ
スポイントに接続します。その際、暗号化
方式として「WPA2-AES」を選択し、パス
フレーズとして上記手順で取得したものを
指定します。この状態でどこかのサイトを
閲覧すると、ネットワーク利用者を特定す
るための認証ページへ転送されます。この
認証を完了すると、安全にサイトを閲覧で
きるようになります。

■二回目以降の場合

再びパスフレーズを取得する必要があり
ません。「utwlan-w」への接続以降の手順
を行って下さい。

【ネットワーク利用の流れ】



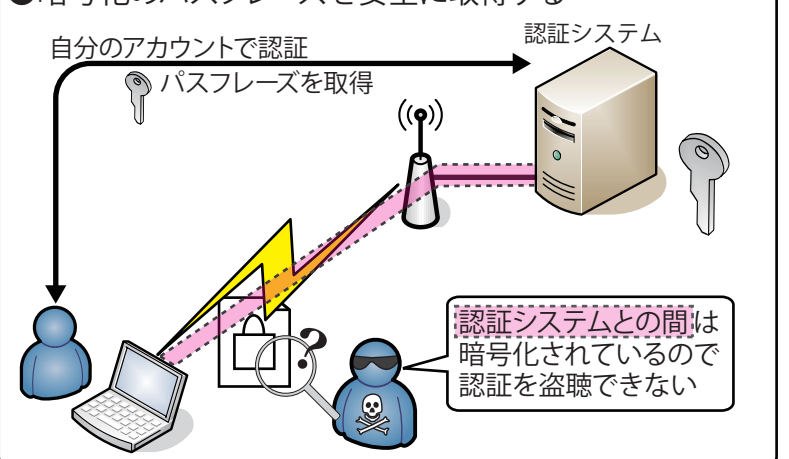
●無線暗号化を行わない場合



●無線をパスフレーズで暗号化する場合



●暗号化のパスフレーズを安全に取得する



●ネットワーク利用者を識別するための認証

